

授業ナビシート作成のポイント

授業ナビシート

____年 ____科 「(単元名・題材名・教材名)」

第○時／全○時

○本時に育成したい資質・能力

本時に育成したい資質・能力を書く。

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面

A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力

B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス

①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す

②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する

③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

○本時のめあて

○本時の展開（めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画等）

・本時において、児童生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿を具体的に記述しましょう。

（児童生徒の学びの過程に着目し、主語が児童生徒となるように）

例：小学5年算数「平面の図形の性質」：これまでの学習を基に三角形の角の大きさの求め方を考えている(A①)

・児童生徒の思考の流れを想定し、予測される反応や手立て等を書きましょう。

例：児童生徒は○○○というように考えるから、□□□という手立てが必要だ

・他者とのやりとりを設定するときは、①目的、②効果的な活用の仕方、③手立て等を明確にしましょう。

（活動することが目的にならないように留意）

・本時の学習をまとめる時間や「振り返り」を設けましょう。

「振り返り」では、本時で目指す「再構築」と照らし合わせた視点を児童生徒に示すと、学びを実感することにつながります。

視点の例：めあてに関わって分かったこと、本時でできるようになったこと、友達とのやりとりを通して気付いたこと等